



2022年6月1日  
(幼保連) 認定こども園さふらん

# 園だより

6月号



## 6月の聖句

さばくは喜びて花咲き、さふらんのように、  
さかんに花咲き、かつ喜び楽しみ、かつ歌う

旧約聖書(口語訳)イザヤ書 35:1~2

ウッドデッキ傍のぐみの木に赤い実がいっぱい！口に含み「甘い」とにっこりの子ども達、柿やクルミ・ヤマモモの実も少しずつ大きくなりました。

3年ぶりに各学年、春の遠足に行けたことが本当に嬉しい出来事でした。

年長さんは多摩動物園へ、たくさん歩いていろんな動物を見て大興奮。新緑のさわやかな1日、年中さんは小山田緑地、年少さんは雨で2度の延期となりましたがひなた村へ、親子一緒にゲームやダンスをしてお弁当を食べ、久しぶりに交流の時間が持て感謝でした。

毎朝の検温と消毒・マスクの着用をコロナ禍の中で続けてきましたが、連休明け頃から朝の検温を中止しました。メールでもお知らせしたように検温での発熱がほぼ無かったこともありますが、全員の子ども達と目を見て心を通わせる朝の挨拶をととても大切に思っているだけに、マスクで顔が見えづらい上に「おはよう」を交わすゆとりもなく器具を額に当てられ、私も子ども達も共に慌たしいスタートになってしまいました。

小さい子ども達にとっても、いや大人でも互いの表情を見ることの大事さを2年半に及ぶマスク生活の中で仕方なかったとはいえ、大きいと感じています。

マスクの着用についても年少組と外や体育遊び・リトミックの時はすでに外していましたが、先のメールでもお伝えしましたように、これから暑くなり熱中症も心配です。年中長も室内でも（ご家庭の判断にお任せします）外す方向で考えていますが、これからの感染状況により判断していきたいと思います。

年長さん主催の進級入園を祝っての歓迎会、事前に準備したケーキをりんご組とさくらんぼ組そして年少組へ、自分たちで考えた言葉を添えて訪れました。年中さんとはホールでゆりとこじかすみれとこりすで、それぞれ集まり歌とケーキをプレゼント、年長さんの思いが伝わる素敵な時、食後食べたケーキの味は格別でした。

早6月、5月も雨の多い日が続きましたが、これから本格的な梅雨の季節です。室内での創造的な楽しい活動も取り入れていきます。年長さんはキャンプに向け雨でなければ大地沢へ下見遠足、そしてキャンプの話し合いがスタートします。暑い日にはプールでの水遊びも3年ぶりに行う予定です。



51年前、団地造成中の一面に幼稚園建設予定地があり、そこに立った松本頼仁創立者は園名の由来となる旧約聖書のこの個所が思い浮かび、幼稚園創設への大きな希望を抱きました。

その願い（幼稚園も社会も愛と平和と希望の美しい花園になるように）は50年を迎えた今も大切な言葉として受け継がれています。



植木鉢で育てた“イチゴ”が赤く色づくのと、子どもたちの目がキラリ！その小さな実を、みんなで分けて食べました。すると子どもたちの嬉しそうな顔！見ていてなんともほほえましかったです。

外遊びが大好きなりんご組。砂場では裸足になり「工事中！」と言って大きなスコップで穴を掘ってみたり、カップに砂を入れ、小枝や葉を飾って「ジュースをどうぞ」と見立てたり全身砂だらけになりながら思いっきり遊んでいます。たくさん遊んだ後は着替えをします。身支度や食事といった生活面は日々の積み重ねが大切で、「自分でやろう！」という気持ちが持てるように教師はサポートしています。時間がかかってしまうこともありますが、どの子どもも頑張っています。

うさぎ組は、みんなの笑顔が増えて、「一緒に」楽しむことができるようになってきました。教師の話や絵本をじっと見たり、名前を呼ばれると「はい！」と返事をする子ども。体操やダンスが好きで音楽がかかると、体を動かし楽しむ姿があります。お昼寝の時に、抱っこをしないと眠れなかった子がお布団で大の字になって寝られるようになりました。ナーサリーが安心して過ごせる場所になってきたのだと、嬉しく思っています。

これから梅雨の時期に入り、天候が不安定になることもありますが、水分補給や体温調節に十分配慮して過ごしたいと思います。どうぞご家庭でも毎日の検温や体調管理にご注意いただき登園させてください。

6月23日はさくらん幼稚園の創立記念日です。今月の聖句は園名の由来となった箇所です。創立者松本頼仁が団地造成中の幼稚園予定地を見た時に、この言葉が浮かびました。幼稚園も社会も「愛と平和と希望の美しい園となる様に」との願いを込めて名づけました。

6月のナーサリーだよりから